

唐沢山行記 (240M)

- 【山行日】 2016年3月5(土) 曇り
【集合】 小山市役所駐車場8:00
【費用】 マイカー :400 円
【メンバー】 CL:飯田 SL:島田
阿部(正)、阿部(よ)、梶内、清水(力)、清水(敬)、
高木、前沢、山田、横田、鳥羽、荒川

【コースタイム】

小山市役所駐車場8:00~JA岩舟市場8:30/8:40村檜神社9:00/9:15
~諏訪が岳10:10/10:25~京路戸峠10:45/10:55~唐沢神社12:10/13:10~
京路戸峠14:00~諏訪が岳標識14:15~奥ノ院14:30/14:50~JA岩舟市場15:30/15:40~
小山市役所駐車場16:00

今回の山は、私にとっては我が家の裏庭のような山で楽しい一日を過ごすことができた。というのは、この辺に家内の実家があり、正月の初詣は村檜神社、春は義父を先頭に山菜取りに歩き廻ったのがこの山だ。秋は松茸狩りを楽しみにしていたが、松が枯れて少なくなったとか、簡単には教えられないとか、言を左右され、とうとう秘密の場所を教えてもらえなかった。残念な気もするが、今では楽しかった思い出の一コマのような気がする。

JAしもつけ岩舟野菜直売所「花野菜ひろば」で地の野菜を物色しながら休憩し、村檜神社境内の駐車場に向かう。ここの駐車スペースは狭いが、先行の車はなく難なく置くことができる。社務所の裏手に簡易トイレが設置されているが今回はパスをする。

準備体操を済ませ、今回お迎えした2名の方(鳥羽さんと荒川さん)を皆に紹介し、早速出発。まずは神社に参拝し今日の安全山行を祈願。この神社は、奈良時代の創建と伝えられ栃木県でも有数の古い建築物になる。かの左甚五郎が日光に「眠り猫」を彫りに行く道中、この神社に滞在したときに彫ったと伝えられる彫り物もこの神社には備えられている。また戦国時代に勢力があった小野寺氏の在所でもあり、奈良時代に都への往還が通じていたところで、歴史のある地域と言われている。

お参りを済ませ神社の間を抜けると唐沢山登り口、本殿の西側にその標識がある。最初の展望台までは思ったより急な登り、そこでまずここのベンチで見繕い。先の岩場に行けば大平山、晃石山などの眺望を楽しめるが、登り始めて間もないので、今回はパス。諏訪が岳の登り口までは緩い登り、階段も整備されており登りやすい。昭和の時代「関東ふれあいの道」になった時に整備されたもので、その後手入れされたような記憶がないが、荒れは少なく登りやすい。諏訪が岳の登り口には巻道と登山口の標識がありすぐに分かる。目の前に頂上が聳えており迷うことはない。しかし急な登りに加え、落ち葉が道を埋め尽くし足場を覆い隠しており、一時も気を抜けない。地元の人は、登り専用で下りは巻道を行くと言われており、今回の行程も同じようにした。登り始めて程なくの急登なので寒いので着重ねてきたが汗をかいてしまう。

諏訪が岳の頂上には広場があり北側の展望もよく、遠く男体山もかすんで見える。ここで一息入れる。地元の人やハイカーの団に出合いちょっとした情報交換をする。地元の方から、諏訪が岳の下りは足元に気を付けるようにとのアドバイスを得る。

諏訪が岳の下りは、やや北面にあるせいか落ち葉も少なく、足場も確保しやすい。巻道と合流すると唐沢山へのハイキングコースに戻る。急登は少なく、登山道も比較的整備されており登り歩きやすい。しかし京路戸峠以外は休む場所が少ない。それでここにはベンチもありゆっくり休む。諏訪が岳で出会った男体山登頂1,200回以上の90歳を超える方には、先行する私たちがここで追い越されてしまった。

ここからは緩やかな上り下りを繰り返す。時々立ち休みしながら歩く。車道にでると程なく唐沢山に至る。ここは関東でも有数の山城と伝えられた堅城で、平安期の開城から江戸初期の廃城まで一度も落城をしてい

ないと聞く。城跡の俯瞰や歴史は桜の馬場に置いてある「唐沢山城跡案内図」できるので、三の丸で一休みにする。ここは、南側にベンチがあり、眼下には佐野市が、晴れた日には遠くに東京の高層ビル群などがよく見える。今日はあいにくの曇りで隠れていた。本当は天狗岩へ登り浅間山や秩父連山、アルプスの山々も賞味したいところだが、雲の多い日でとても望めそうもなくパスする。

昼食はゆっくり食べることができた。コーヒーとおしんこ、フルーツ、お菓子と盛りだくさんで、普段味わうことのない贅沢を味わいました。

ゆっくり休んで帰りはまず「唐沢山神社」にお参りする。あとは来た道に戻る。来る時の難儀が嘘のような軽い足取りで京路戸峠までほとんど休むことなく歩く。このベンチでまたゆっくり休む。諏訪が岳は巻道を辿り山頂はパスする。巻道をすこし下ると大慈寺へ下る標識がある。せっかくの機会なので慈覚大師が12歳まで修業した寺をお参りする。下山道はかなり下る（疲れもあり思ったより長く感じられた、年のせいもあるようだ。）と大師の修業の岩があり、そこで一同しばし瞑想し、にわか修業を積む。大師の徳が皆に乗り移ったのか、みなさん晴れがましい顔になりお寺にお参りする。神社の参道を登り村檜神社に無事帰還のお礼をする。

帰りはJAしもつけ岩舟野菜直売所「花野果ひろば」で休憩。ほぼ予定通り小山市役所駐車場に到着した。

記：飯田



村檜神社 重要文化財です。



登山口



諏訪岳 急登だ！！



諏訪岳山頂



春ランが咲いていた。



こんな感じのコースです。



昼食



唐沢山神社



円仁が座禅をくんだ所



大慈寺に下山。

